

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	第2回情報のかけ橋委員会
2. 開 催 日 時	令和6年2月7日(水) 午後2時30分～午後4時30分
3. 開 催 場 所	松阪市役所 地下会議室
4. 出席者氏名	(委員) ※敬称略 副市長 永作友寛、山守一徳、川口正人、中北直子、殿村道信 (事務局) 中西章、武田誉利子、岸本大輝
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	0 人
7. 担 当	松阪市 秘書広報局 広報広聴課 TEL 0598-53-4312 FAX 0598-22-1119 e-mail kouhou.div@city.matsusaka.mie.jp

議題

1. 委員長あいさつ
2. SNS等の運用状況について
3. 広報広聴課からの報告
4. 松阪市ホームページ「リニューアル後、1年経過」について
5. 広報まつさかについて～左開きに変更します～
6. その他

議事録

別紙

第2回情報のかけ橋委員会 議事録

事務局 令和5年度第2回情報のかけ橋委員会を開催します。本日は酒井委員
がご欠席という連絡をいただいておりますのでよろしくお願いたします。
それでは、事項書に沿って進めさせていただきます。それでは永作副市
長のほうから挨拶をお願いします。

1. あいさつ

委員長 皆さん改めましてこんにちは。お忙しいところお集まりいただきましてあり
がとうございます。能登半島の地震の関係なんですけど三重県からの要請
等もありまして、市からも現地へ出向いており、防災の職員が輪島市の
避難所運営へ行っておりました。その報告を先日受けましてその中で私
驚いたのが、珠洲市の職員数が400人ぐらいいるそうなんですけど、1月1
日の発災したときに集まった職員が14人、3日の日に集まったのが20人、
中旬ぐらいになってやっと200人ぐらいになったということです。市長も
言っているんですけど、地震はいつ起こるか分からない、その時にまず職員
の安否確認をまずどうしていくのかっていうのと、やはり市役所としては、
災害対策本部として、市として何人集まれるのかっていうのが非常に重
要ということをして市長が言っておられて、私も地震が起こったときに自分
が生きていられるのかとかですね、家族が大丈夫なのか、やっぱり家族
が何かなって「さあ、出てこい」というのは絶対に無理ですよ。今回
のケースとして、1月1日に起こったことですので、ほとんどの方がお家に
みえたりとか、ひよっとすると実家に戻っており、戻ってこられなかったと
かのケースもあるかと思うんですけども、職員が400人いて3日たって2
0人の中、何らかの指示を出して運営をするということは、多分何もでき
なかったんだろうと、実際の報告の中で聞いて感じました。また、避難
所運営についてのマニュアルも何もできていなかったようで、職員がなか
なか行けない状況の中、地元の方が避難所へ行っても雑魚寝状態という
か、ぐっちゃぐちゃな状態だったそうです。そのような中、急遽40人ぐら
いの避難者を受けてくれっていうのを松阪市の職員が言われまして、まず
は通路を仕切り直して、もう一回ちゃんと入り直してと松阪市の職員が指
示をして、やっと40人ぐらいの方を追加で受けることができたと言ってい
ました。これからも長期で応援を出してくれと来てます。被災に遭われた
方は本当に大変なんだろうと報道等にもありますので、できる限りこち
らとしても支援をしていければというふうに思っています。変なあいさつ
になりましたが本日はどうぞよろしくお願いいたします。

2. SNS 運用状況についての報告

事務局 それぞれのフォロワー数とチャンネル登録者数を令和6年2月1日現在で掲載させていただいております。

FACEBOOK のフォロワー数が 2,326 人
X(旧 Twitter)のフォロワー数が 4,170 人
Instagram のフォロワー数が 4,952 人
YouTube のチャンネル登録者数が 3,727 人
松阪ナビのダウンロード数が 29,333 人

3. 広報広聴課からの報告

事務局 前回第 1 回の会議で委員の皆さまよりご意見いただいた内容の中で改善させていただいたところを報告させていただいております。

- ・広報まつさかで文字色が背景色と近いページを改善しました。
- ・広報まつさかが横書きメインのため左開きにしてはどうかというご提案について、R6年4月号より左開きにすることとなりました。詳しくは、このあとの議題で説明します。
- ・松阪ナビの周知を定期的に行ってはどうかというご提案で、広報 11 月号特集で大々的に周知を行いました。結果として 1,310 件のダウンロード数の増加となりました。

では、3つ目の改善点で説明しました松阪ナビダウンロードキャンペーンについて説明をさせていただきます。資料1をお願いします。

松阪ナビをダウンロードしていただいている方を対象にデジタルスタンプラリーを実施しました。この企画は、松阪ナビの知名度をさらに上げて、幅広い年齢層にダウンロードをしていただくようところで実施しました。スタンプラリーのほうは、商店街連合会さんにご協力いただきました。また、観光施設や文化施設もスタンプ地点として、各店舗さんにご協力をいただきました。スタンプの種類を、3つに分け、「食べる」「買う・利用する」「訪れる」として 10 月 1 日から 11 月 30 日までの 2 カ月間スタンプラリーを実施させていただきました。スタンプを全て集めていただいた方には、抽選でプレゼントをさせていただき、プレゼント対象者 30 名に対し、応募が 42 名となりました。また、広報紙の特集では今回漫画調にさせていただきました。読者に少しでも目に留まってほしいという想いと、松阪ナビの便利な機能を知ってほしいという想いで試行錯誤の面もありますが、新たなチャレンジをさせていただきました。

事務局 今までにないような感じになったと思います。また、1月号でも松阪ナビのお話をしているんですけども、これも今までにないようなインパクトのある感じとなっています。また、後の議題でも出てきますが、市民意識調査の中でも松阪ナビを知らないという結果が結構ありますので、まずは知ってもらいたいというのがありました。

委員 防災無線が聞こえますよね。最近AIの自動音声になっていますので余計に聞きづらいっていうときもありますけれども、この松阪ナビにすると、放送された内容がお知らせで入ってくる。これって結構、松阪ナビを使ったことがない方にとっては、このアプリで知れるんだっていうのがありますし、ごみの日のお知らせもありがたいですし、それから、防災無線が活字になって知らせてもらえる、こういうことはできるんですよっていうのはすごく気持ち的には分かるんですけども、第1弾、第2弾、第3弾と区切って第1弾では、「ごみと防災無線」で松阪ナビならすぐ見れるよみたいな部分に絞り込んで、第2弾になると、こんなことができるよみたいな形で情報を得ることができるよみたいな感じで、少しやっぱり一気にやってしまうのではなくて、そういう工夫があってもいいと思います。まず、本当にこの防災無線の関係は1ページ使っても、実は、松阪ナビならすぐ何が放送されたか分かるんですということが伝えられるといいと思います。

事務局 実際、何て言っているのか聞こえないというお問い合わせが何件かありますので、こういった周知ができるように検討していきたいです。

委員 お問い合わせいただいたときにでも、松阪ナビでなら放送と同時にお知らせもしますよというお話をしているともういいと思います。家族の中で一人でも松阪ナビを持っていると、お年寄りの人が、何を言っているのや？となった時に、家族の人が見せてあげることもできますしね。

事務局 松阪ナビの中で防災って載せていますけれども、今のお話の内容は載せていないので、反対に防災の特集をするときに、松阪ナビで見れますよというのはありますが、こちら側の松阪ナビからは、入れていなかったのも、ありがとうございます。

委員 前回の委員会で聞いて、私も入れました。民生委員会の理事会で聞いてみると15人中3人やったかな。しか入れていなくて、そこで皆さん入れてもらいました。また、自分たちのところに戻って聞いてみたら、25人中3人で、そこは私よりも年配の方ばかりなので、年配の方って、アプリを

ダウンロードするということがちょっと抵抗がある。ハードルが高くなっている。やっぱり有料じゃないのか、LINEが無料でできるということが私達は最初、本当にタダでできるのかぐらいの疑いがあったなというような世代なんで。年配の方たちは子供たちにいらんことを勝手にダウンロードするなよと言われている方が多いので、その子供達の学校を通じて子供達が入れたらお父さんお母さんとかおじいちゃん、おばあちゃんに便利だよみたいに、これを入れておくべきだよとならんかな、というふうに前回の会議から今までの話を聞いて思いました。松阪ナビを入れることは確実に有効なので、是非皆さんに松阪ナビを入れてもらいたいと思います。

委員 逆に公民館なんかで、松阪ナビを入れてあげよう運動みたいなのは難しいですか。

委員 色々やったらいいと思うんですよ。無料ですよ。危なくないですよ。もうメリットしかありませんよ。と伝えられたら多分大丈夫だと思うんです。

委員 松阪ナビ講座みたいな出前ではないですけど、少し行かれて入れて差し上げる。やっぱり入れて差し上げるところまでしてあげないとね。公民館に出られたらその悪いものやないって思いますよね。

委員 そこで公民館の人とかがね、常にしてくれたらね。ただ、携帯変えたりとかすると、もう一回アプリを入れないといけない。知り合いの人は、変えてそのままになっているんですよ。なので、公民館で常にしてくれる環境があればいいですよ。まあ、ターゲットは高齢層なんでしょうね。若い子に一気にいこうと思うと、なかなか難しいですし。

委員 防災無線が聞こえない、何を言っているのかわからないという地域があるんですよ。やっぱりそこで、松阪ナビでは活字で見ることができるよ！というのを押していってもらったらと思います。

事務局 ありがとうございます。一番身近な内容である防災無線の内容などで再度周知できるように、検討させていただきます。

4. 松阪市ホームページ「リニューアル後、1年経過」について

事務局 続きまして、5番目のホームページリニューアル1年経過ということで、昨年の2月1日から1年が経ちましたので、利用者アンケートをさせていただきました。また、市民意識調査の結果もあわせて、報告をさせていただきますながら、皆様のご意見を伺いたいと思います。

事務局 では、まずはホームページでの利用者アンケートですね。実際の利用者のアンケートとして、ホームページ上で11月1月から11月30日までの1か月間アンケートをさせていただきました。合計有効回答数66件ということで、少し少ないかもしれませんが、一緒に見ていただければと思います。あと、市民意識調査も毎年のことですが、ホームページの内容とかSNS等もそうですけども、ご意見をいただきましたので、ご確認いただきたいと思います。では、資料3の方を一つずつ見ていただきたいと思います。説明のあと、お配りさせていただいたiPadで10分ぐらいホームページを見ていただいて、こんなところをもっと配慮したらいいよなど、御意見をいただければと思っています。では、資料の方からまずお願いします。

【利用者アンケートについて順を追って説明】

【市民意識調査について順を追って説明】

※アンケート番号8番の「カタログポケットを知っていますか」結果についてのみ、以下記載。他の設問については、読み上げたのみのため割愛。

カタログポケットについて説明。

広報まつさかのデジタル版でスマホで広報紙が見れるのが特徴です。アプリでもダウンロードできますし、今回広報まつさか1月号の表紙に載せていますが、QRコードを読み込んでもらったら、ブラウザ版で見ることができるようになっています。周知を広報紙でも行っているんですが、有効的な周知ができていないのが現状のため、知らないという方が圧倒的な結果となっております。のちのちは、広報紙もデジタル化というのを視野に入れないといけない時代もくるだろうと思いますので、こういった、デジタル版の広報紙の周知もしっかり行っていないといけないなと感じる結果となりました。

委員 松阪ナビからはカタログポケットへ入れるんですか。

事務局 松阪ナビからはリンク設定をしていないですし、お知らせもしていないのが現状です。

委員 情報広場などで、数か月に一度でもいいので載せたほうがいいですね。

委員 今は、ブラウザ版が開いたんですけど、アプリでもダウンロードできるのでしょうか。

事務局 アプリでもダウンロードは可能です。広報1月号表紙で掲載しておりますオレンジ色のうさぎのアイコンが目印になります。また、広報まつさかだけでなく、カタログポケットに参入している他市の広報紙も確認できますし、気に入った紙面をマイページ登録できる機能などもあります。何より、優れているのが検索機能です。例えば、広報まつさかで掲載されているかどうかを調べるため、本文検索で「おむつ」と検索すると、過去掲載されているページがピックアップされすぐに閲覧できます。

委員 実は、先ほど会議で過去の広報まつさかの紙媒体の保存をどうしようかと話がでていました。だんだん置くところがなくなってきてどうしようかと悩んでいました。会社なんかだと、電子で残すのが多いので。

事務局 市ホームページでも広報紙のPDFデータは公開しています。カタログポケットは、データをダウンロードするわけではなく、閲覧するためスムーズに閲覧でき、検索機能が特に優れています。また、情報誌であれば対象となりますので、参入される企業さんがあれば、カタログポケットで閲覧可能だと思います。あと、多言語翻訳機能もついておりますので、読み上げにも対応しております。今年度初めて市民意識調査にアンケート項目を載せまして、現状は知らないが圧倒的であったため、松阪ナビなどと連携したりなど、今後は周知に力を入れていきたいと思っております。

また、今回の「知らない」が多くなっているのは、画像アイコンがなかったからかもしれないとも感じています。実際のところ、アプリを利用するときは、アイコン画像をたよりに利用していると思うんです。今後は、アンケートを実施する際は、アイコン画像と一緒に掲載するほうがいいのかとも思いました。そうすることで、ある意味周知にもつながると思っておりますし、いろいろ工夫して周知をしていきたいと思っております。

【10分ぐらいホームページの確認をしてもらう】

- ・広報コンクールで入選されている鹿児島市さんとひたちなか市さん、ならびに尾鷲市さんを例に確認をもらう。
- ・松阪市との比較。

事務局 参考例のホームページと違うところといえば、「検索窓(キーワード検索)」がまず開いた画面の枠内に表示されているかどうかだと思います。趣向は違いますが、尾鷲市さんのホームページはスクロールさせないトップペ

ージになっています。いずれにおいても、検索に特化されているところが見受けられます。見ていただくとわかるように、松阪市と参考例の市と違いがほとんどありません。色使いの関係やレイアウト、枠が角ばっているか丸いかなどの微妙な差はありますがほとんど同じつくりだと思います。

委員 見せ方が少しちがうだけで、印象が変わりますね。参考例のホームページはなんか優しい感じがします。

事務局 そのときそのときの流行りがあったり、流行りのレイアウトがありますので、一概にどれがいいっていうのは難しいです。

委員 当時新しいホームページへ移行する際には、上に検索窓があるっていうのは旬じゃないっていう業者さんの説明があったように思います。

委員 パッと見て、色味が地味なような感じがしました。華やかな、柔らかい色味をしたほうがいいのかもしいかなと思います。

事務局 カルーセルの部分も他市は、観光的な画像を表に出しています。そういったほうがいいのでしょうか。

委員 ホームページを見に来る理由はそれぞれ違いますので、そこはあんまり気にしなくてもいいように思います。

委員 尾鷲市さんのカテゴリ4つっていうのは、シンプルでいいですね。あと、「松阪ってどんなまち？」っていうトップページはもういらないかもしれないですね。

事務局 1年経過しますし、そろそろカルーセルへの掲載は終了する方向で検討します。あとカルーセルの掲載する基準は、イベントや観光周知の内容を基本として考えています。また、掲載数が多くてもいけませんので、5～6枠を考えています。

委員 市民意識調査の回答者の年齢層が高いように見受けられますが、対象者をどのように選定されているのでしょうか。

事務局 市内にお住まいの15歳以上の方を対象とした、無作為の3,000人のアンケートとなっています。年齢層は、ある程度まんべんなくなるように設計はされているのですが、調査の回答をしていただく方は、比較的年齢層が高い方が多く、回答率としては、どうしても偏ってしまいます。

委員 新着情報で過去の情報はどこにいくんでしょうか。

事務局 新着情報の一覧の中で確認ができるようになっています。ただですね、それぞれのページで公開期間終了設定をすることができますので、期限を迎えたものについては消えてしまいます。こういった公開期限を設定するものは、イベント募集であったり、開催日が過ぎたものであったりと、残しておく必要がないものについては、期限設定していることが多いです。

委員 ホームページの新着表示にあがってこないということですが、少し前のものはどこにあるのでしょうか。

事務局 トップページの新着情報の少し下に、新着情報の一覧というボタンがあります。この中に過去の情報が入っております。

委員 アンケートの中に観光サイトが3つあってとありますが、どこにあるのでしょうか。

事務局 ・「松阪市観光プロモーションサイト」は、トップページの右上または、魅力いっぱい松阪内から見れます。
・「松阪市観光インフォメーションサイト」は、トップページの事業PRバナーから見れます。
・「松阪市観光協会のサイト」は、プロモーションサイト内からリンクされています。

運用状況について、観光交流課にも一度確認させていただきます。やっぱり、市役所のホームページを見に来ていただくときは、何か目的をもって見に来ていただくことが多いと思いますので、レイアウトも含め、見せ方を考えていきたいと思います。

5. 広報まつさかについて～左開きに変更します～

事務局 広報まつさかについて4月号から左開きになります。現在縦書きになっている高齢者のくらしを考えるや市長コラムのページにつきましては、横書きに変更をさせていただきます。また市民の方への周知については、3月号の情報広場で行います。今回皆様にご意見をいただきたいのが、左開きになる注意点を改めてご教示いただければと思います。

委員 縦書きになる文字をなるべく少なくする。2月号であれば、目次横の初午

まつりや武四郎まつりの文字が縦書きになっていますので、それを横書きにする。

事務局 まちのできごとのタイトルも横文字にしたほうがよいでしょうか。

委員 そのほうがいいですね。なぜ、横書きで左開きにするのかというところで、電話番号も見やすいですし、メールアドレスなどの英字などもそうですし、なぜこうなったのかということを考えておいたほうがいいと思います。

委員 目次横の割り方ですが、今は縦なので、どうなのかなこれも横にするのですか。

事務局 他市の広報紙を参考にしながら、縦割りでいくのか横割りでいくのかを検討させていただきます。

委員 現状もほぼ横書きなので、おそらく苦情というのはないのではないかと思います。必ず、4月号の表紙のタイトルのところに、ちょっと大きく「市民の皆様のご利便性を追求して、見合った開き方に変わります。」や「市民の皆様によりみていただきやすいように、開き方が変わります」みたいな大きなキャッチフレーズみたいなものがあったらいいかと思います。それでも、なんで変わったんですかと言われたときは、先ほど事務局が言われたように、電話番号とか英字がより見やすいのが横書きであり、横書きに適した左開きになりましたと言ってもらったらいいいと思います。

事務局 たとえば、表紙の配置なのですが、今のであれば2月号の丸が綴じる側の右側にありますが左右を、ごろっと入れ替えるべきでしょうか。

委員 それは変える必要があると思います。まつりなどの文字も開き側に向かって登っていているように、今度は右上がりにする必要もあるかと思います。次のアクションに向けていく方向にあげていくほうがデザイン的には良いです。今の表紙も少しリニューアルされてもいいのかと思います。

事務局 特集など、単独記事の中で、アクセントをつけたいときでちょっとした縦書きとかはアリなのかなと考えていたのですが、いかがでしょうか？

委員 基本的には、横書きのほうがいいと思います。例えば、外国誌のニュートンですが、あれは外国で作ったものを日本語で作成していますので全て横書きになっています。少し遊びをいれたいのであれな、ちょっと斜めにしたりして、これは遊びですよと分かるようにしたらいいかと思います。

事務局 ありがとうございます。皆さまの貴重なご意見を参考に4月号から変更させていただきます。と思います。

6. その他

事務局 次回の開催日を、令和6年5月23日(木)14時～とさせていただきます。

本日はこれで終了させていただきます。ありがとうございました。

以上。